

立命館大学課外自主活動団体の地域交流における 新型コロナウイルス感染症に関する感染および感染拡大防止ガイドライン

立命館大学学生部

立命館大学では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえ、学生の地域交流の在り方を検討してまいりました。この感染症についてはまだ分かっていない点が多く、すべての者が感染をするリスクを抱えて生活をしている状況にあると言えます。この中でできることは、自らが感染する可能性をどれだけ下げることができるか、また自らが感染していた場合に他者を感染させてしまう可能性をどれだけ下げることができるか、という視点で対応を考える必要があります。本学では、学生たちがこの課題を「我がこと」ととらえて行動をとれるようにするために、学生自身の手で、団体ごとにその活動の特性に応じた対応方針を作成し、学生部との協議を経たうえで確定し、その方針に基づいて活動をしております。以下に、地域交流活動に関して共通する基本的な対応ガイドラインを示しますが、これ以外にも団体ごとに独自の対応が定められています。

上記の対策の実施が難しいと判断される場合には、交流の実施をお断りすることがありますことを予めご了解いただけますようお願い致します。

【交流活動時外】

1. 交流実施前後の各2週間において体調を管理し、その状況を大学に報告する
2. 日常的に不要不急の外出を避け、外出時にはマスクを着用する
3. 交流の準備などは可能な限り、電話やオンラインミーティングを活用する

【交流活動時】

1. 移動中も含め、マスクを着用する
2. 屋内で実施する場合は、換気を徹底する
3. 交流参加者と接触せず、最低2メートルの距離を保つ（緊急時、危険回避時は除く）
4. 交流参加者と対面しての対話、近距離での対話が避けられない場合は、マスクに加えて、フェースシールドを着用する
5. 交流会場へ入場する際に手指のアルコール消毒を実施する
6. 共有して触れる物品は可能な限り少なくし、共有物に触れる際に手袋を着用したり、その前後に手指の消毒をおこなうなど感染拡大防止に努める